

一般社団法人日本調理科学会 平成 26 年度第 4 回理事会議事録

日時：平成 27 年 1 月 31 日（土）14 時 00 分～17 時 00 分

場所：お茶の水女子大学 本館 103 号室（東京都文京区大塚 2 - 1 - 1）

出席者：大越ひろ、香西みどり、長野宏子、石井克枝、綾部園子、新井映子、石田丈博、和泉秀彦、磯部由香、今井悦子、岡本洋子、川原崎淑子、北尾悟、佐藤之紀、正田一貴、杉山智美、藤井恵子、松本美鈴（以上理事 18 名）市川朝子、小川宣子（以上監事 2 名）

欠席者：會田久仁子、和泉眞喜子、笠倉知子、坂本裕子、白杉直子、沼田貴美子、三成由美（以上理事 7 名）

本日の理事会は定款第 33 条（理事 25 名中×18 名出席）の規程を満たし成立。

1. 会長挨拶

大越ひろ会長より挨拶があった。

2. 議長選出 大越ひろ会長

議事録作成人 北尾悟庶務担当事務

議事録署名人 大越会長、香西筆頭副会長、小川監事、市川監事

3. 前回議事録確認（資料 1）

平成 26 年度第 3 回議事録（資料 1）に記載されたなかで次の 3 点の修正があった。

4-3) 特別委員会報告のなかで、・ 規程委員会について、「収支減→収益減」

4-4) 災害時メニュー開発に研究会について、「デモで行うよりも」→「今回の広島の場合、デモで行うよりも」

4-5) (3) その他 「近畿支部の予定」→「表によると近畿支部の順番である」

なお、次回からは理事会前に議事録を示し、理事会当日の議事進行を図る予定。

4. 議事

【報告・承認事項】

1) 常置委員会の報告

i 編集委員会：石井委員長より資料 2 に基づき報告がなされた。なお、研究倫理について、今後、他学会誌などの動向を参考にし、勉強会の開催も考える。所属団体に研究倫理委員会を設けていない大学・短大・企業の投稿者への配慮も必要である。電子投稿システムは J-Stage で採択されれば無料になるが、厳しい状況。

ii 情報管理委員会：石井委員長より資料 3 に基づき報告がなされた。電子ジャーナルのパスワードは毎年度の更新が必要である。学会誌などで会員に周知を図る。

2) 特別委員会の報告

i 刊行委員会：大越委員より当日配布の資料に基づき報告がなされた。40 周年事業の一環として「クックリーサイエンス」の充実を今後も進める上で、自薦・他薦を問わず執筆者の募集を行う。

ii 規程委員会：香西委員長より資料 4 に基づき報告がなされ、改正 3 点につき、承認された。大越会長より、各支部に選挙資料を配布する際、代議員の補欠者も選ぶよう依頼する文言を添える予定とあった。

3) 研究委員会の報告と設置

i 加熱調理委員会：大越会長より資料 5 に基づき報告がなされた。「世話人」→「委員長」の修正があった。

ii 災害時のメニューに関する研究委員会：市川委員長より報告がなされた。10 月にメニューの検証を行い、特に根菜類の簡便な調理方法に関して、+α の冊子としてまとめる予定。

iii 次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会：長野委員長より資料 6 に基づき報告がなされた。

4) 入会申込者（平成 26 年 12 月～平成 27 年 1 月）承認： 当日配布資料に基づき、新たに正会員 7 名の入会を承認した。

5) 出版編集補助費の契約に関する件： 長野副会長より、3) iii の家庭料理委員会の報告書を基に、農文協から各都道府県別に順次出版作業を行うと報告がなされた。編集費用補助金として各都道府県につき 40 万円を農文協からいただく契約書を学会と交わしたいとの依頼があった。契約内容は吟味する必要があるが、

契約を進める事に関しては承認された。契約内容は次回の理事会に諮ることとなった。

【決議事項】

1)平成 27 年度事業計画（案）、予算（案）の件：香西副会長より資料 7-1 に基づき事業計画案ならびに収支予算案について提案がなされた。また資料 7-2 に平成 27 年度のスケジュールが示された。代議員総会を 6 月 7 日（日）に、また本大会前日の 8 月 23 日（日）に理事会が開催されることの確認がなされた。審議の結果、事業計画案ならびに収支予算案について決議された。

平成 27 年度大会実行委員会から、大会補助金を今年度中にほしいと申し出があり、必要性が認められ了承された。今後、次年度の大会補助金は大会後に支払うこととなった。

【その他】

①平成 27 年度功労賞受賞候補者の推薦依頼：大越会長より、各支部より候補者の推薦を依頼された（3 月末日締切）。

②平成 27 年度学会賞選考委員会の設置の報告：大越会長より、飯島記念財団からの補助の関係上、平成 26 年 11 月に委員会を設置したと報告がなされた。委員長は香西筆頭副会長、委員に石井副会長、新井庶務担当理事、石田会計担当理事、今井支部長、磯部支部長とする。学会賞、奨励賞の候補者の推薦を依頼された（3 月末まで）。香西委員長より、4 月中に委員会を開催する予定（監査と同日）と伝えられた。

③選挙の実施について：選挙管理委員会の委員長は前回選挙同様、的場前会長に依頼する予定。

④次期（平成 27 年度）大会について：大会実行委員長である新井理事より資料 8 に基づき報告がなされた。この中で口頭発表の形式を大学の設備の関係上、書画カメラがないので PC 持参で液晶プロジェクターにて投影したいとの申し出があった。前年度までの方式と変更になるので慎重な対応が必要との意見が出され、学会業者と再度調整することとなった。

⑤次次期（平成 28 年度）大会について：大会実行委員長である和泉理事より名古屋学芸大学（日進市）にて 8 月末に開催予定との報告がなされた。会場へのアクセスにはスクールバスが必要とのこと。

⑥各支部の平成 26 年度事業報告・決算報告について：2 月末日までに報告するよう依頼があった。

⑦各支部の平成 27 年度活動計画案・予算案について：4 月末日までに提出するよう依頼があった。

⑧平成 27 年度代議員総会について：6 月 7 日（日）11 時 30 分より開催する。議案書は当日の理事会で決議されてからとなるが、議論する環境を整え速やかなる議事進行を図る目的で事前に代議員にも議案書を案として示す。そのため代議員にはメールにて参考資料として添付送信することとする。総会后、懇談会をはさみ、14 時からの講演会の内容を決定しなければならない。各理事から自然科学系、研究倫理など、アイデアが出されたが結論は持ち越しされ、企画担当で詳細を詰めることとなった。

⑨平成 27 年度第 1 回理事会について：6 月 7 日（日）10 時 30 分より開催する。委任状は通用しないので注意すること。大会参加費の 1,000 円値上げを検討する。

⑩寄付金について：功労賞を受賞された成田美代先生、学術著作権協会、6 月 1 日の講演会に出店の出版社より寄付があった。また広島大会の大会補助金の戻りが寄付として 35 万円あったが、今後大会補助金は準備金として捉え、戻すことを前提に運営努力するように要望があった。大会での理事の弁当補助を見直すこととなった。

⑪生活科学系コンソーシアム活動について：大越会長より資料 9 に基づき報告がなされた。

以上

署名人

会長	大越 ひろ
筆頭副会長	香西 みどり
監事	市川 朝子
監事	小川 宣子